平成 28 年度
社会福祉法人柳川市社会福祉協議会　事業報告書

≪法人経営部門≫

1．理事会・評議員会等の開催

事業名等	時期・場所等	議案内容及び主な意見
(1) 理事会	第 1 回理事会 ○平成 28 年 5 月 26 日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・理事 10 人（内書面出席 1 人） ・監事 2 人 ・事務局 6 人 ※理事定数 12 人（欠員 2 人） ○全議案全会一致で可決	第 1 号議案　平成 27 年度事業報告並びに決算報告 ［監査報告及び監事の意見］ ・会計処理については、適正な事務処理がなされており、不整な点は無かった。 ［主な意見］ ・福祉委員研修への参加が少ない原因について ・社協会費納入に係る行政区長へ働きかけについて ・処遇改善加算の活用状況について ・各積立金の限度額について ・物故者敬供事業に係る弔慰の拝読について 第 2 号議案　後任評議員の選任 第 3 号議案　苦情解決に関する規程の制定
	第 2 回理事会 ○平成 28 年 9 月 6 日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・理事 12 人（内書面出席 3 人） ・監事 2 人 ・事務局 6 人 ※理事定数 12 人 ○第 1 号及び第 2 号は全会一致、第 3 号議案は賛成多数、第 4 号から第 7 号議案までは全会一致で可決	第 1 号議案　副会長の選任 第 2 号議案　会長個人と利益相反する行為となる事項等における職務代理者の選任 第 3 号議案　訪問介護事業所・介護予防訪問介護事業所運営規程の一部改正の専決処分 ［主な意見］ ・サービス提供時間の拡大について 第 4 号議案　訪問入浴介護事業所・介護予防訪問入浴介護事業所運営規程の一部改正の専決処分 ［主な意見］ ・訪問入浴介護職員を増員した理由について 第 5 号議案　指定障害福祉サービス居宅介護事業所運営規程の一部改正の専決処分 第 6 号議案　企画・財政委員会規程の一部改正 ［主な意見］ ・婦人会を福祉団体と位置づけた理由について 第 7 号議案　後任評議員の選任
	第 3 回理事会 ○平成 28 年 12 月 22 日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・理事 11 人（内書面出席 2 人） ・監事 2 人 ・事務局 5 人	第 1 号議案　定款の変更 ［主な意見］ ・会長及び常務理事の職務執行状況の報告について 第 2 号議案　給与規程の一部改正 ［主な意見］ ・職員の平均給料月額及び初任給について

	※理事定数 12 人 ○全議案全会一致で可決	第 3 号議案　後任評議員の選任
	第 4 回理事会 ○平成 29 年 2 月 7 日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・理事 12 人（内書面出席 4 人） ・監事 1 人 ・事務局 6 人 ※理事定数 12 人 ○全議案全会一致で可決	第 1 号議案　評議員選任・解任委員会運営細則の制定 第 2 号議案　定款施行細則の全部改正 第 3 号議案　処務規程の一部改正 ［主な意見］ ・職員の育児休業等の取得について 第 4 号議案　役員及び評議員の選出規程の一部改正 第 5 号議案　後任評議員の選任 第 6 号議案　居宅介護支援・居宅介護予防支援事業所運営規程の一部改正の専決処分 第 7 号議案　訪問介護事業所・介護予防訪問介護事業所運営規程の一部改正の専決処分 第 8 号議案　訪問入浴介護事業所・介護予防訪問入浴介護事業所運営規程の一部改正の専決処分 第 9 号議案　指定障害福祉サービス居宅介護事業所運営規程の一部改正の専決処分
	第 5 回理事会 ○平成 29 年 3 月 3 日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・理事 12 人（内書面出席 3 人） ・監事 2 人 ・事務局 5 人 ※理事定数 12 人 ○全議案全会一致で可決	第 1 号議案　平成 28 年度一般会計資金収支補正予算［第 1 号］（案） 第 2 号議案　経理規程の一部改正 第 3 号議案　嘱託職員就業規則の全部改正 第 4 号議案　就業規則の一部改正 第 5 号議案　定年退職者再雇用規程の一部改正 第 6 号議案　非常勤職員就業規則の一部改正 第 7 号議案　臨時職員就業規則の一部改正 ［主な意見］ ・専任職員、臨時職員及び非常勤職員の違いについて ・無期雇用契約へ転換した場合の専任職員の賃金労働条件について ・有期雇用契約の年数及び無期雇用契約へ転換後の雇用契約並びに人材育成について 第 8 号議案　役員等報酬規程の全部改正
	第 6 回理事会 ○平成 29 年 3 月 24 日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・理事 12 人（内書面出席 6 人） ・監事 2 人 ・事務局 6 人 ※理事定数 12 人 ○全議案全会一致で可決	第 1 号議案　平成 29 年度事業計画（案） ［主な意見］ ・地区社協の役員体制について ・地域福祉活動計画の進捗状況について ・新地域支援事業に係る行政との連携について 第 2 号議案　平成 29 年度一般会計資金収支予算（案） 第 3 号議案　弔慰規程の全部改正 第 4 号議案　経理規程の一部改正 第 5 号議案　評議員選任・解任委員の選任

		第 6 号議案　次期評議員選任候補者の推薦 第 7 号議案　評議員選任・解任委員会の招集
(2) 監事会	第 1 回監事会 ○平成 28 年 5 月 13 日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・監事 2 人 ○指摘事項なし	平成 27 年度事業報告及び決算報告に係る監査
(3) 評議員会	第 1 回評議員会 ○平成 28 年 5 月 26 日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・評議員 16 人 ・監事 2 人 ・会長、常務理事 ・事務局 6 人 ※評議員定数 25 人 ○全議案全会一致で可決	第 1 号議案　平成 27 年度事業報告並びに決算報告 ［監査報告及び監事の意見］ ・会計処理については、適正な事務処理がなされており、不整な点は無かった。 第 2 号議案　後任理事の選任
	第 2 回評議員会 ○平成 28 年 12 月 22 日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・評議員 18 人 ・会長、常務理事 ・事務局 5 人 ※評議員定数 25 人 ○全議案全会一致で可決	第 1 号議案　定款の変更 ［主な意見］ ・評議員選任・解任委員の選任方法等について 第 2 号議案　後任理事の選任
	第 3 回評議員会 ○平成 29 年 3 月 3 日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・評議員 17 人 ・会長、常務理事 ・事務局 5 人 ※評議員定数 25 人 ○全議案全会一致で可決	第 1 号議案　平成 28 年度一般会計資金収支補正予算［第 1 号］（案） ［主な意見］ ・支出科目における対象職員数の相違について 第 2 号議案　定款施行細則の全部改正について

	第 4 回評議員会 ○平成 29 年 3 月 24 日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・評議員 16 人 ・会長、常務理事 ・事務局 6 人 ※評議員定数 25 人 ○全議案全会一致で可決	第 1 号議案　平成 29 年度事業計画（案） ［主な意見］ ・訪問入浴介護事業の利用者数について 第 2 号議案　平成 29 年度一般会計資金収支予算（案）
(4) 正副会長会	第 1 回正副会長会 ○平成 28 年 12 月 13 日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・会長 ・副会長 2 人 ・常務理事 ・事務局 2 人	第 1 号協議　定款の変更内容の説明並びに評議員の定数見直しに係る各団体への依頼 ［主な意見］ ・評議員人選の重要性について ・評議員選任・解任委員会設置に係る経緯について
	第 2 回正副会長会 ○平成 29 年 3 月 10 日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・会長 ・副会長 2 人 ・常務理事 ・事務局 6 人	第 1 号協議　平成 29 年度事業計画（案） ［主な意見］ ・地区社協への支援について ・評議員の任期について ・福祉委員研修の開催時期について ・生活福祉資金貸付制度における民生委員の役割等の説明について ・在宅介護自費サービス事業の周知について ・電動ベッドの増台について 第 2 号協議　平成 29 年度一般会計資金収支予算（案） ［主な意見］ ・各拠点への職員配置数の相違について ・現純資産比率における経営状況について ・法人募金の推進方法について 第 1 号報告　平成 29 年 3 月理事会等への提出議案
(5) 企画・財政委員会	第 1 回企画・財政委員会 ○平成 29 年 1 月 27 日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・企画・財政委員 6 人 ・事務局 3 人 ※企画・財政委員定数 8 人 ○全議案全会一致で承認	第 1 号議案　平成 29 年度福祉団体等助成金の審議 ［主な意見］ ・会費徴収の経過措置について ・助成金使途の明確化について ・助成金の福祉活動への活用について
(6) 評議員選任・解任委員会	第 1 回評議員選任・解任委員会 ○平成 29 年 3 月 28 日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・評議員選任・解任委員 4 人	第 1 号選任　委員長の選任 第 1 号議案　次期評議員の選任

	・会長、常務理事 ・事務局 2 人 ○全議案全会一致で承認	
(7) 表彰審査委員会	第 1 回表彰審査委員会 ○平成 28 年 9 月 8 日 ○大和総合保健福祉センター ○出席者 ・表彰審査委員 4 人 ・事務局 3 人	第 12 回柳川市社会福祉大会被表彰者の審査 平成 28 年度被表彰者 ボランティア等功労者　鎌田愛美 氏 平成 28 年度感謝 10 万円以上の一般寄附者　㈱マミーズ柳川店様

2. 役員等の研修

事業名等	時期・場所等	内　容
(1) 役員及び評議員研修	平成 28 年 9 月 16 日 大川市文化センター 参加者 ・理事 6 人 ・監事 1 人 ・評議員 9 人 ・事務局 4 人	①社会福祉法人制度改革について ②新たな介護予防・日常生活支援総合事業の県下の取り組み状況について 講師　福岡県社会福祉協議会 地域課長　川崎展裕 氏

3. 職員の教育・研修

事業名等	時期・場所等	内容及び効果
(1) 職員基礎研修	平成 28 年 6 月 21 日 柳川総合保健福祉センター 参加者　常勤職員 28 人	各事業担当から事業概要及び課題等について説明。(プレゼンテーション形式) 効果：各職員が社協全体の業務及び課題の把握ができ、また、プレゼンテーション形式で行ったことで、職員の説明力が向上した。
(2) 広報研修	平成 28 年 8 月 23 日 三橋総合保健福祉センター 参加者　常勤職員 32 人	広報誌の作り方や社協事業全体の広報のあり方について検討。(グループワーク形式) 効果：広報活動に活かせる様々な意見が出され、また、グループワーク形式で行ったことで、職員のコミュニケーション能力が向上した。
(3) パソコン研修	平成 28 年 12 月 2 日 三橋総合保健福祉センター 参加者　常勤職員 19 人	広報研修に関連付け、講座等のチラシ作成に係る実践的な研修。(講師　サンビジネス㈱　スタッフ 3 人) 効果：チラシ作成技術及びパソコン操作が向上した。
(4) 交通安全研修	平成 28 年 12 月 20 日 柳川総合保健福祉センター 参加者　常勤職員 29 人	柳川市主催の交通安全研修に参加。 ①管内の交通事故の状況 ②事故防止のための心がけと事故後の措置

	非常勤職員 6 人	③飲酒運転の撲滅 講師　福岡県柳川警察署
(5) 人権・同和研修		
ⅰ　人権を考えるつどい	平成 28 年 12 月 4 日 柳川市立三橋公民館 参加者　役職員 10 人	人権劇「あなたの会社はどうですか」 心の健康～仏心は歌心～（講演） 主催：柳川市
ⅱ　企業等の事業主に対する人権･同和問題研修会（大牟田地区企業内同和問題研修推進委員会主催）	①平成 28 年 7 月 28 日 エコサンクセンター 参加者　職員 1 人 ②平成 28 年 11 月 17 日 大牟田文化会館 参加者　職員 1 人 ③平成 29 年 2 月 15 日 大牟田文化会館 参加者　職員 1 人	①「企業と人権」～結局は働く人の笑顔に尽きる～（講演） ②「大牟田市における人権・同和教育・啓発の取り組みについて」（報告） ③「企業と人権」～最近の悪質、陰湿な部落差別やハラスメント解決に向けた法律等の制定の動きから皆さんへ期待すること～（講演）

※上記の他、業務上必要で専門的な外部研修等に適時参加した。

4. 福祉人材育成のための実習生の受入

事業名等	時期・場所等	内　容
(1) 介護員養成実習の受入	通年 担当：三橋支所 在宅福祉係	大川障風高校　3 人　延べ 3 日間 九州大谷短期大学　2 人　延べ 9 日間
(2) 介護支援専門員養成実習の受入	通年 担当：三橋支所 在宅福祉係	個人　2 人　延べ 6 日間

≪地域福祉活動推進部門≫

１．ボランティア育成・福祉教育

［ボランティアセンター管理運営］

<table>
<tr><td>【窓口対応件数】　計 662 件（前年比 42 件増）
・ボランティアの登録　90 件
・ボランティア活動の相談　35 件
（内訳）活動希望 10 件、活動要請 25 件
※この内マッチング件数は 23 件
・NPO 設立に向けた相談　0 件
・その他の相談　94 件
・ボランティアセンターへの協力要請　23 件
・ボランティア連絡協議会からの相談　43 件
・諸室・印刷機の利用　377 件
※ボランティアセンターへの訪問者数　385 人</td><td rowspan="2">【登録団体件数】　計 42 団体（前年比 9 団体増）
・地域社会ボランティア　5 団体
・福祉ボランティア　16 団体
・教育ボランティア　2 団体
・文化ボランティア　13 団体
・子育てボランティア　2 団体
・環境ボランティア　2 団体
・災害ボランティア　2 団体

【ボランティア体験会】
ボランティアを始めるきっかけづくりとして開催。
① 10/18、体力再発見！レク式体力チェック！
講師：レクリエーション式体力チェック
普及指導員　橋本敏子氏
参加者　15 人
② 3/9、みんなで楽しく手話体験～初心者向け
講師：柳川手話の会
参加者　14 人</td></tr>
<tr><td>【ボランティア保険加入件数】
・活動保険　113 件（788 人）
・行事用保険　11 件
・福祉サービス補償　10 件
・送迎サービス補償　1 件</td></tr>
<tr><td>評価及び課題</td><td colspan="2">体験会の参加者が減少傾向であったが、内容や対象者を明確にし、個人登録者へ案内はがきを送付した結果、参加者の増加に繋がった。活動者や希望者から、活動情報の発信・交換ができる交流スペースの必要性を求める声が多くあがっている。</td></tr>
</table>

［災害ボランティアセンター設置運営訓練］

時期・場所等	事業内容	評価及び課題
11 月 13 日 六合コミュニティセンター	水害発生を想定し、被災者の復興支援のために、各地から詰めかけるボランティアを被災者のニーズに繋げ、その活動が円滑かつ効果的に展開されるように、サテライトの設置運営訓練を実施。 参加者　社協職員 26 人、市職員 9 人	本年度から行政と一体となって運営できるように、市職員も参加して訓練を実施した。訓練は、様々なニーズを想定して行ったため、新たな課題等も見つかり、マニュアル改訂の必要性など活発な意見が出された。

［各種講座関係］

事業の名称	時期・場所等	事業内容	評価及び課題
ボランティア入門講座	①9 月 1 日 ②9 月 2 日 全 2 回 柳川総合保健福祉センター	ボランティアを始めるきっかけづくりや知識を深めるために実施。 ①笑って健康！地域に笑いの輪を広げよう！ 講師　福岡笑いヨガクラブ　山本順子　氏 ②第 2 の生き方講座 ～もっと豊かにいきいきと暮らすために～	80 歳になっても健康で、いきいきと活躍して欲しいという趣旨で内容を企画。受講者がボランティ

	①いきいきルーム ②研修室	講師　NPO 法人 NAP 福岡センター 代表　馬場邦彦 氏 ③介護予防ポイント事業 ④ボランティア登録について 参加者　21 人	ア活動に参加したくなるような企画を提案していく。
傾聴ボランティア養成講座	10 月 26 日 11 月 2 日､9 日、16 日、30 日、他実習 1 日 全 6 回 三橋総合保健福祉センター	傾聴の心構えや基礎知識、技術等を学び地域において活動する傾聴ボランティアを養成することを目的に実施。 内容：傾聴の基本、キモチに寄り添う聴き方、ありのままを受け入れる聴き方、可能性を信じる聴き方、肯定的に捉える聴き方、幸せを感じる聴き方　など 講師　NPO 法人日本ソーシャルコーチ協会　理事長　冨岡郁雄　氏 施設実習：特別養護老人ホーム「よのもと」 参加者　16 人	実際のボランティア活動に繋げるため、6 回シリーズで開催。終了後、受講生を中心に傾聴ボランティアグループを立ち上げることができた。グループの活動支援と併せ、引き続き高齢者等の心のケアに関わるボランティアの育成に努めていく。
災害に強い地域づくり講座	①11 月 10 日 六合地区 ②12 月 17 日 皿垣地区 全 2 回 各地区コミュニティセンター	突然の災害に備え、住民同士の支援活動が円滑に進められるよう、必要な知識の普及を図るために実施。 講師　福岡県防災危機管理局消防防災指導課 ①六合地区 ・災害に対する日頃の備え ・自主防災組織の活動 参加者　26 人 ②皿垣地区 ・災害に対する日頃の備え ・災害図上訓練 参加者　53 人	昨年度で開催希望の全地区社協が終了し、本年度から 2 回目を行っているが、未実施の地区もあるため、各地区への実態調査を踏まえながら、地域防災に役立てていただけるよう実施を働きかけていきたい。
よりあい活動支援講座	3 月 23 日 3 月 30 日 2 回 三橋総合保健福祉センター	よりあい活動の必要性やその効果を理解し、更には実践力を習得した地域の福祉関係者を養成するために実施。 ❖よりあい活動支援講義・演習 講師　NPO 法人ココフル 代表理事　下釜純子　氏 ・サロンで簡単にできる ボールを使った体操 ・サロンで簡単にできる ボールを使ったレクレーション 参加者 32 人 ・地区社協関係者 11 人 ・地域デイサービス関係者 15 人 ・一般 6 人	今年度も地区社協関係者の他､市内の地域デイサービス事業の関係者と昨年度の受講者にも参加を呼びかけた｡昨年度よりも地域デイサービスの関係者の参加者が多く､その意欲は大変高いものがあった｡今後も引き続き､よりあい活動の実践者の養成を行っていく。

市民福祉講座	2 月 2 日 2 月 16 日 2 月 23 日 全 3 回 三橋総合保健福祉センター	市民の福祉への関心を高め、身近なテーマについて学習する機会を提供するために実施。 ①「いざというときのために自宅でできる応急手当の知識と技術を身につけよう」 講師　柳川消防本部 東部出張第 2 分隊 救急救命士　西田健一郎　氏 ②「簡単！楽しい！在宅介護者のための健康ストレッチ」 講師　NPO 法人ココフル 代表理事　下釜純子　氏 ③「上手なおむつの選び方・使い方について～プロの介護テクニックを覚えよう～」 講師　㈱リブドゥコーポレーション 排泄ケアアドバイザー 松崎麻美　氏 参加者　20 人	昨年度のアンケート結果等を踏まえ、今回は「在宅介護」のテーマで行った。 今後も、アンケートなどから求められるテーマを取り上げ、講座内容の充実を図っていきたい。
障がい者問題(社会問題)啓発セミナー	2 月 8 日 2 月 14 日 2 月 22 日 全 3 回 柳川総合保健福祉センター	障がいに対する偏見や差別をなくし、全ての人が完全参加と平等について理解と認識を深めてもらうために実施。 ①「ひきこもりに理由はあるのか Ⅰ～公的機関の視点から~」 講師　福岡県精神保健福祉センター 指導主事　田中　忍　氏 ②「ひきこもりに理由はあるのか Ⅱ～研究者の視点から～」 講師　福岡県立大学大学院 准教授　四戸智昭　氏 ③「ひきこもりに理由はあるのか Ⅲ～当事者の視点から」 講師　福岡「楠の会」吉村文恵　氏 久留米「楠の会」福田正昭　氏 福田知美　氏 参加者　25 人	様々な立場からの話を聞くことで、ひきこもり問題について、より深く考えることができた。 当事者やその家族も参加されており、市内においてもひきこもりの問題が身近にあることを改めて感じるきっかけにもなった。ひきこもりの支援状況について情報提供する場になったが、市内で支援する体制作りにまでは及んでいないことが課題である。

［福祉教育関係］

事業の名称	時期・場所等	事業内容	評価及び課題
福祉教育教材配布事業	7 月 14 日 市内全小学校 柳河特別支援学校	市内の 19 小学校と柳河特別支援学校の 3 年生から 5 年生（学校で 1 学年選択）に 630 冊配布	今年度からの事業。学校からの活用報告書の内容を踏まえ、引き続き配布していきたい。

２．調査・広報・普及

事業の名称	時期・場所等	事業内容	評価及び課題
社協だより発行 （年６回発行） 第 67～72 号	5 月 15 日 7 月 15 日 9 月 15 日 11 月 15 日 1 月 15 日 3 月 15 日	【第 67 号】児童福祉月間周知、平成 28 年度事業計画、地域福祉活動計画（特集 11）、住環境機材等貸与、社協会費依頼等 【第 68 号】献血月間周知、平成 27 年度事業報告、福祉委員紹介、心配ごと相談員委嘱、社協会費依頼及び活用事業、ボランティア活動応援講座募集等 【第 69 号】赤い羽根共同募金協力依頼、地域福祉活動計画（特集 12）、社会福祉大会お知らせ、地区社協研修会等 【第 70 号】社会福祉大会報告、視察研修受け入れ報告、福祉委員・民生委員交流会、日常生活自立支援事業紹介、子育て支援セミナー募集、福祉・ボランティア団体活動助成金案内等 【第 71 号】歳末たすけあい事業報告、新年挨拶、福祉巡回車寄贈報告、歳末たすけあい募金寄附、住環境機材貸与事業、災害ボランティアセンター設置運営訓練、傾聴ボランティア養成講座報告、市民福祉座談会報告、災害に強い地域づくり講座報告、市民福祉講座募集等 【第 72 号】大和センター節分祭、地区社協紹介、災害に強い地域づくり講座報告、社会問題啓発セミナー報告、心配ごと相談員研修報告、福祉教育教材活用報告、社会福祉大会実行委員募集等	本会が行う事業を幅広い世代の方に知っていただくために、記事やレイアウトの充実を図った。また、インターネットでも閲覧できるようにホームページへの掲載を行った。
市民福祉座談会	11 月 6 日 1 箇所開催 弁天・大和干拓行政区	≪主な意見≫ ①「災害に強い地域づくり講座」の開催単位及び開催方法について ②コミュニティバスの運行経路について 参加者　56 人	開催地区と日程調整を行いながら、開催回数の増加に努めていく。
各種基礎調査	平成 28 年 4 月	人口や世帯数、高齢者、障がい者等に関するデータ把握のため基礎調査を実施。 ≪平成 28 年 3 月 31 日現在データ≫ ①人口　68,279 人（前年比 805 人減） ・65 歳以上の割合 30.9%（前年比 0.9%増） ・75 歳以上の割合 16.1%（前年比 0.5%増） ・14 歳未満の割合 12.3%（前年比 0.2%減） ②世帯数　25,122 戸（前年比 124 戸増） ③一人親世帯数　769 戸 ④65 歳以上独居高齢者数　3,751 人（前年比 149 人増） ⑤65 歳以上高齢者世帯数　6,713 戸（前年比 299 戸増）	調査した福祉データを市民福祉座談会や学習会等で活用し、市民への福祉啓発を推進していく。

第12回柳川市社会福祉大会	10月17日 柳川市立大和公民館	広く市民に参加を呼びかけ、社会福祉への関心を高める機会として実施。 ①オープニング 柳川エイサー響会演舞 ②式典（表彰1人、大会宣言など） ③当事者からのメッセージ 発表者　特別養護老人ホーム 介護職員　篠原善弘　氏 ④記念講演 テーマ「ほっとけ心のアッパレ介護」 講師　女流講談師　田辺鶴瑛 さん 参加者　313人	広報手段の強化として、今回から立て看板を設置した。しかし、まだPRが不十分という事が終了後の実行委員会で指摘されたので、次年度は検討する。
高齢者疑似体験用具貸与事業	通年	貸出件数　4件（学校3、企業1）	セット内容一覧表を各学校等に配布し利用促進を図っていく。

３．小地域福祉ネットワーク、よりあい活動

事業の名称	時期・場所等	事業内容	評価及び課題
地区社協事業	通年	○地区社協個別支援 ・内部研修等の支援　8件 ・視察研修等の支援　5件 ○地区社協連絡会（全体会3回） 6月14日、9月21日、2月14日 ・平成28年度市社協事業について ・福祉委員連携推進事業助成について ・歳末たすけあい事業について ・社会福祉大会参加要請について ・次年度の地区社協連絡会事業について ・地区社協活動助成金について ・市社協評議員の推薦について ・各地区の課題共有及び情報交換 ○地区社協役員研修会 7月2日、三橋公民館 豊原・二ッ河地区社協活動報告　他 参加者169人（18地区） ○視察研修受入れ（市外） 10月6日、糸島市長糸校区社協12人 （藤吉地区社協対応） ○みんなが主役の元気な地域づくりセミナー 2月23日、福岡市、参加者11人（11地区）	定期的に連絡会を開催することで、各地区の課題の共有や地区社協相互の情報交換につながっている。 地区社協を通じて地域の福祉関係者の研修や交流を深めてもらうために、助成制度を新設したことで、情報交換の場が増えてきているように思われる。 今後も、地区担当職員の各地区への関わりを強化し、個別支援の充実を図っていきたい。

福祉委員設置推進	通年	○福祉委員設置状況（H29.3 月末現在） 平成 28 年 4 月 1 日、3 期目委嘱 福祉委員数 439 人（304 行政区） ○研修等開催状況 1）新任者委嘱状交付及び研修会 4 月 28 日、水の郷、参加者 83 人 ・福祉委員活動の留意点 他 2）福祉委員全体研修会 3 月 11 日、大和公民館 参加者 182 人（内地区社協関係 8 人） ・成年後見制度について 講師　㈱いけだ社会福祉士事務所 池田将樹 氏 ・活動報告　高畑 4 行政区 福祉委員　松藤秀子　氏 宇土・江島地区 民生児童委員　浦 幸子 氏	福祉委員の設置区数及び設置委員数ともに前期より増加しており、一定の進展が見られた。福祉委員個々の意識向上を図っていくことと併せ、地域での活動実態を把握し、今後の活動支援につなげていくことが必要である。 また、地域での福祉関係者との連携強化に向けた支援も充実させていく。
よりあい活動支援室内遊具貸与事業	通年	貸与件数 7 件 （内訳：老人会 3、地域デイ 4） 遊具利用回数 輪投げ 4 回、ストライクナイン 1 回、ルーレットゴルフ 1 回、ダートゲーム 1 回、コーンボールセット 2 回、囲碁ゴルフ 1 回、延 10 回	遊具一覧表を配布し、地域デイサービス実施地区での遊具の利用促進に努める。

4．当事者及び当事者団体への支援

事業の名称	時期・場所等	事業内容	評価及び課題
子育て支援講座	12 月 9 日 12 月 16 日 全 2 回 柳川総合保健福祉センター	親と子どもの関係の重要性を自覚し、子どもとともに成長する喜びを感じ、心にゆとりを持って子育てができるよう支援するために実施する。 ○クリスマスオードブルとおせち作り 参加者：1 日目 14 人・2 日目 11 人 託　児：1 日目 11 人・2 日目 8 人	これまでの参加者アンケート等から料理講座の要望が多かったこともあり、多くの方に参加いただき好評だった。参加者同士で積極的に声を掛け合うなど、とても良い交流ができていた。
住環境改善機材貸与事業	通年	利用件数　0 件	貸出し要件等の見直しを検討していく。
火災見舞品支給事業	通年	火災に遭われた被災世帯に対して、急場の生活維持のために、救援物資の支給を行う。 支給件数　2 件（7 セット）	被災状況の情報を早く把握し、見舞品を届ける時間の短縮に努める。

物故者への敬供事業	通年	敬供件数　895 件（前年比 78 件増） ・市内　888 件（+82） ・市外　 7 件（－4） ※敬供品　線香及び弔意	休日等に市外葬儀場に敬供する必要がある場合に備えて、本会に数個保有しておく必要がある。
歳末助け合い事業 ※助成事業	12 月 1 日～31 日 市内 19 地区	新年を迎える時期に、要支援者が安心して暮らすことができるように、地区社会福祉協議会の歳末事業を支援した。 ・実施地域：柳川 8 地区、大和 6 地区、三橋 5 地区 ・助成額 1,003,900 円（前年比 44,600 円減） ・主な事業：一人暮らし高齢者、寝たきり高齢者及び施設入居者等への見舞品配布(カツオパック、お茶、タオル、手紙など)	地区社協を通じた年末時期のたすけあい活動として定着してきている。歳末期に限らず、平常時における声かけや見守り活動の充実につながる支援を行っていきたい。
福祉団体活動支援事業 ※助成事業	交付時期 平成 28 年 6 月	市内で活動する福祉団体の当事者同士の交流、福祉制度の学習や広報啓発の活動を支援した。 ・助成団体数　6 団体（前年比+1） ・助成額 1,123,000 円（前年比 23,000 円増）	平成 28 年度から、福祉団体とボランティア団体の助成金交付規程を一本化し、福祉団体等助成金交付規程として運用している。また、既存の団体に加え、平成 29 年度に助成を希望する新規団体の募集を、社協だより及びホームページにて行い、問い合わせはあったが申請には至らなかった。
ボランティア団体活動支援事業 ※助成事業	交付時期 平成 28 年 6 月	誰もが安心して暮らせる地域づくりのため、主に市内で活動するボランティア団体の活動を支援した。 ・助成団体数　3 団体（前年比±0） ・助成額 114,000 円（前年比 3,000 円増）	
ボランティア連絡協議会活動支援事業 ※助成事業	交付時期 平成 28 年 6 月	市内でボランティアを行う団体又は個人のつながりを作り、活動を推進するために、ボランティア連絡協議会の活動を支援した。 ・助成額 97,000 円（前年比 3,000 円減）	

≪市民福祉サービス部門≫

１．生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）

資金種類		相談件数				申請件数	決定件数	償還完了件数	年度末貸付数
		申込	償還	その他	計				
総合支援資金	生活支援費	8 件	3 件	0 件	11 件	1 件	0 件	0 件	24 件
	住宅入居費	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	
	一時生活再建費	1 件	2 件	0 件	3 件	0 件	0 件	0 件	
臨時特例つなぎ資金		0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	1 件	2 件
福祉資金	福祉費	28 件	0 件	0 件	28 件	6 件	6 件	6 件	19 件
	緊急小口資金	59 件	8 件	2 件	69 件	16 件	15 件	13 件	29 件
教育支援資金	教育支援費	9 件	3 件	0 件	12 件	4 件	4 件	1 件	121 件
	就学支度費	17 件	3 件	0 件	20 件	9 件	9 件	1 件	
不動産担保型生活資金	一般世帯	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	2 件
	要保護世帯	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	
離職者支援資金		0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	3 件
海苔養殖業者緊急生活資金		0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	1 件	17 件
合　計 （前年比）		122 件 （＋21）	19 件 （＋15）	2 件 （－4）	143 件 （＋32）	36 件 （＋1）	34 件 （－4）	23 件 （－6）	217 件 （＋11）
評価及び課題		生活困窮者自立支援法が施行され 2 年目になり、生活困窮者支援調整会議が定例化したことで、関係機関の情報共有及び連携がスムーズにいくようになった。この結果、行政関係機関からの紹介等が増え、福祉資金（特に緊急小口資金）の借り入れ相談及び申込みが増加している傾向にある。今後も生活困窮世帯の自立につながるように、借入申込者の気持ちに寄り添って、相談支援を行っていく。							

２．緊急支援品支給事業

申請件数	実申請者数	延べ世帯員数	支給品区分		
			アルファ米	乾パン	飲料水
14 件 （＋7）	7 人 （＋2）	14 人 （＋7）	84 食 （＋45）	27 缶 （±0）	0 本 （±0）
評価及び課題		生活福祉資金の貸付けが実行されるまでなど一時的な食糧支援として、定着してきており、本人の同意のもと、地域の福祉関係者に生活困窮者の情報提供を行っている。 現在支給している緊急支援品は、保存食のみのため、高齢者や病気の方に配慮した食物を検討する必要がある。		

３．心配ごと相談事業

場　　所	開設日・時間	開設日数	相談件数	主な相談事項
柳川総合保健福祉センター「水の郷」	毎週木曜日 13:00～16:00	47 日 （－3）	57 件 （－1）	財産、法律、家族、住宅、土地
評価及び課題	専門相談員（司法書士）1 名、民生児童委員 2 名の 3 名体制で、市民等の日常生活のあらゆる相談に応じ、適切な助言指導を行い、住民の福祉向上を図ることを目的に実施している。 相談件数が開設日数を上回ってはいるものの、開設日当たりの相談件数が概ね 1 件という状況であるため、社協だより等による広報を通じて、今後更なる事業周知に努めていきたい。			

４．日常生活自立支援事業（県社協受託事業）

利　用　者　数	13 人（+4）　※年度中途の契約解除者を含む ［内訳］認知症高齢者 9 人、知的障がい者 1 人、精神障がい者 3 人
支　援　内　容	日常的な金銭管理、通帳預り、福祉サービス利用援助、生活上の助言
支　援　回　数	150 回（+49）　※延べ支援回数
評価及び課題	利用者は、昨年度末から 2 人が契約を解約し、新たに 4 人が契約した。当該事業に関する相談は、増加傾向にあり、今年度においては、障害者相談支援事業所や地域包括支援センター等からの相談が増えている。生活支援員は、社協職員が兼務していることから、1 人の生活支援員が対応できる利用者数に限界がある。よって、ボランティア活動や福祉に関心のある方を、生活支援員として養成する等、生活支援員の確保について検討する必要がある。

５．福祉用具貸与事業

用具の種別	年間貸与延べ件数	評　価　及　び　課　題
車　　椅　　子	208 件（－62）	昨年度から、福祉用具の貸与期限を 2 年と定めたため、期限が到来した方は、返却（条件を満たした場合に無料譲渡、有償譲渡）して頂いている。これにより、一部の方が長期間占有することなく、より多くの必要な方に貸与できるようになってきた。また、同じく昨年度から開始した市役所窓口への貸与制度案内チラシの設置を引き続き行うなど、関係機関を通じて更に周知を図っていく。
ギャッジベッド	0 件（－12）	
電 動 ベ ッ ド	841 件（－108）	
歩　　行　　器	4 件（－6）	
松　　葉　　杖	10 件（－13）	
乳 児 用 ベ ッ ド	0 件（±0）	
合計（前年比）	1,063 件（－201）	

６．ハンディキャブ（福祉車両）貸与事業

実利用者数 （前年比）	年間貸与件数 （前年比）	評　価　及　び　課　題
７人 （－5）	49 件 （－16）	実利用者数、貸与件数ともに前年度より減少した。今後、窓口や広報誌等で事業の周知を図っていきたい。

７．福祉バス事業（市受託事業）

利用団体	予定日数	利用日数	利用者数
単位老人クラブ及び市老連	50 日（－3）	45 日（＋1）	681 人（＋3）
福　祉　団　体　等	12 日（＋3）	12 日（＋3）	174 人（＋28）
学　童　保　育　所	13 日（－4）	12 日（－5）	278 人（－125）
民生児童委員協議会	4 日（－4）	4 日（－3）	65 人（－46）
地区社協及び関係団体	19 日（－6）	18 日（－7）	304 人（－109）
柳　川　市	3 日（＋1）	2 日（±0）	27 人（＋11）
合　計（前年比）	101 日（－13）	93 日（－11）	1,529 人（－238）
評価及び課題	老人団体が優先ではあるが、空き日には福祉団体等の利用もあり、各団体の研修等に有効利用されている。なお、車両の使用年数が約 20 年、走行距離が 218,000 ㎞を超えて老朽化が進んでいるため、今後の事業運営上の大きな課題となっている。		

８．大和・三橋老人福祉センター管理運営（市受託事業）

〔大和老人福祉センター〕

月	開館日数	利用者数	平均利用者数	評価及び課題
４月	24 日	1,157 人	48.2 人	今年度に新規開設されたトレーニングルームの利用者にも声かけして利用増を図ったが、前年度よりも利用者数は減少した。カラオケ機器も新しくなったので利用者とのコミュニケーションに心がけ、利用者増に繋げたい。
５月	23 日	994 人	43.2 人	
６月	26 日	1,033 人	39.7 人	
７月	27 日	1,161 人	43.0 人	
８月	22 日	972 人	44.2 人	
９月	25 日	1,008 人	40.3 人	
10 月	25 日	1,003 人	40.1 人	
11 月	24 日	896 人	37.3 人	
12 月	22 日	896 人	40.7 人	
１月	23 日	921 人	40.0 人	
２月	23 日	903 人	39.3 人	
３月	27 日	951 人	35.2 人	
合　計 （前年比）	291 日 （－２）	11,895 人 （－2,182）	40.9 人 （－7.1）	

〔三橋老人福祉センター〕

月	開館日数	利用者数	平均利用者数	評価及び課題
4 月	22 日	887 人	40.3 人	前年度は 1 カ月間のボイラー入替工事があったこともあり、利用者数は前年比で増加した。 また、口コミ等による新規利用者の増加に加え、トレーニングルームや諸室利用後にセンターを利用される方も増えてきている。
5 月	21 日	866 人	41.2 人	
6 月	24 日	947 人	39.5 人	
7 月	22 日	809 人	36.8 人	
8 月	21 日	850 人	40.5 人	
9 月	21 日	779 人	37.1 人	
10 月	21 日	830 人	39.5 人	
11 月	22 日	879 人	40.0 人	
12 月	20 日	768 人	38.4 人	
1 月	19 日	837 人	44.1 人	
2 月	21 日	831 人	39.6 人	
3 月	24 日	963 人	40.1 人	
合　計 (前年比)	258 日 (－6)	10,246 人 (＋628)	39.7 人 (＋3.3)	

9．柳城児童館の管理運営（市受託事業）

月	開館日数	つどいの広場利用者数		つどいの広場 相談件数	児童館 相談件数	評価及び課題
		保護者	乳幼児			
4 月	20 日	287 人	321 人	178 件	16 件	安心できる居場所作りや相談しやすい雰囲気を心掛けたため、利用者が増加に転じた。また、年間通した定期的な子育てセミナーの実施や当事者目線のホームページも要因の一つに考えられる。 近年 DV や虐待予備軍等の重篤な相談も寄せられるようになってきたため、次年度からは、18 歳までの子を持つ親の相談にも力を入れて、早期の悩み解決に取り組みたい。
5 月	19 日	359 人	386 人	200 件	14 件	
6 月	22 日	441 人	467 人	278 件	15 件	
7 月	20 日	411 人	478 人	224 件	10 件	
8 月	21 日	337 人	409 人	252 件	11 件	
9 月	20 日	364 人	413 人	258 件	8 件	
10 月	19 日	364 人	403 人	214 件	11 件	
11 月	20 日	390 人	419 人	171 件	13 件	
12 月	19 日	266 人	281 人	149 件	12 件	
1 月	19 日	325 人	377 人	163 件	4 件	
2 月	20 日	325 人	366 人	186 件	2 件	
3 月	22 日	330 人	399 人	185 件	18 件	
合　計 (前年比)	241 日 (－1)	4,199 人 (＋275)	4,719 人 (＋331)	2,458 件 (－14)	134 件 (－77)	

【主な子育て講座等】
- いっぽ子育てセミナー（年 3 回、1 回あたり 6 コマ講座）　参加者 36 人
- おしゃべりカフェセミナー（年 1 回、1 回あたり 8 コマ講座）　参加者 13 人
- 子どもの暮らしと遊び座談会（年 9 回）　参加者 51 人
- ベビーマッサージ講座（年 13 回）　参加者 80 人

10. ファミリーサポートセンターの管理運営（市受託事業）

<table>
<tr><td>【会員登録状況】
・おねがい会員…225 人（前年比 24 人増）
・まかせて会員… 86 人（前年比 2 人増）
・どっちも会員… 27 人（前年比 1 人増）
合計…338 人（前度比 27 人増）
【まかせて会員養成講座】
・第 1 回　5 月 13 日～5 月 31 日
7 人参加（1 人修了）
・第 2 回　11 月 16 日～12 月 2 日
7 人参加（2 人修了）
【交流会】
・第 1 回　12 月 2 日　参加人数　40 人
・第 2 回　3 月 8 日　参加人数　20 人</td><td>【活動件数】
・597 件／年（前年比 112 件増）
【主な活動内容】
・学童保育所及び保育園から習い事までの送迎
・学童保育所及び保育園からの迎えと預かり
・保育園登園前の預かりから保育園への送り
・保育園が休み時の日中の預かり
・兄弟の学校行事時の預かり
・自宅から塾への送り
・保護者の冠婚葬祭時の預かり
・自営業が忙しい時の保育園への送迎</td></tr>
<tr><td>【評価及び課題】</td><td>活動件数増の要因は、本年度新規で保育園の送迎のサポート（概ね毎日）依頼が 1 件あったためである。隠れた需要を掘り起こし活動件数を増加させるために、おねがい会員への PR を工夫する必要がある。</td></tr>
</table>

≪在宅福祉サービス部門≫

1．介護保険事業・障害者総合支援事業

月	居宅介護支援	訪問介護		訪問入浴介護		障害者総合支援		評価及び課題
	利用者数	利用者数	利用回数	利用者数	利用回数	利用者数	利用回数	
4月	109人	32人	374回	9人	35回	21人	238回	居宅介護及び訪問介護における事業所加算の取得を継続実施したことで、一定の収支改善が図られた。 今後も積極的なPRや広報活動を行い、信頼される介護サービスの提供に努めていきたい。 訪問入浴介護に関しては、利用者数の減少により厳しい状況が続いているため、今後も、居宅介護事業所への周知等を図りながら利用者獲得に努めていきたい。
5月	115人	30人	356回	6人	34回	19人	207回	
6月	113人	32人	353回	9人	41回	18人	204回	
7月	106人	29人	334回	10人	41回	18人	180回	
8月	106人	29人	336回	10人	49回	17人	200回	
9月	110人	31人	310回	8人	48回	17人	202回	
10月	109人	34人	412回	8人	38回	18人	202回	
11月	116人	34人	411回	8人	42回	20人	216回	
12月	115人	32人	411回	8人	42回	18人	201回	
1月	111人	32人	369回	6人	24回	16人	192回	
2月	113人	29人	367回	5人	21回	17人	200回	
3月	120人	30人	403回	6人	32回	17人	224回	
合計 (前年比)	1,343人 (＋2)	374人 (＋21)	4,436回 (＋113)	93人 (－4)	447回 (－46)	216人 (－29)	2,466回 (＋60)	

2．予防給付事業

月	介護予防支援	介護予防訪問介護		介護予防訪問入浴介護		評価及び課題
	利用者数	利用者数	利用回数	利用者数	利用回数	
4月	12人	32人	206回	0人	0回	予防訪問介護の利用者は増加しており、活動回数も前年度を上回る実績となった。 平成29年4月から柳川市が実施する総合事業に一部サービスが移行されることから、行政と連携を図りながら介護予防事業の充実を図っていきたい。
5月	11人	33人	214回	0人	0回	
6月	11人	33人	233回	0人	0回	
7月	11人	34人	240回	0人	0回	
8月	11人	37人	271回	0人	0回	
9月	11人	38人	263回	0人	0回	
10月	11人	38人	265回	0人	0回	
11月	12人	39人	266回	0人	0回	
12月	13人	40人	265回	0人	0回	
1月	13人	40人	235回	0人	0回	
2月	12人	40人	235回	0人	0回	
3月	12人	42人	271回	0人	0回	
合計 (前年比)	140人 (－45)	446人 (＋58)	2,964回 (＋508)	0人 (±0)	0回 (±0)	

３．在宅介護自費サービス事業

月	実利用者数	利用回数	評価及び課題
４月	３人	４回	徐々に事業の周知も進み、利用者数、利用回数ともに増加している。今後も引き続き、利用者の要望に柔軟に対応できるようサービス内容を工夫・改善しながら取り組んでいきたい。
５月	２人	３回	
６月	３人	４回	
７月	２人	17回	
８月	３人	24回	
９月	４人	29回	
10月	３人	25回	
11月	３人	21回	
12月	８人	31回	
１月	７人	29回	
２月	８人	37回	
３月	８人	29回	
合　計		253回 （+133）	

４．地域生活支援事業〔市受託事業〕

［移動支援事業・入浴サービス事業］

月	移動支援		障害者入浴サービス		評価及び課題
	実利用者数	利用回数	実利用者数	利用回数	
４月	６人	31回	０人	０回	移動支援については、利用者数はほぼ前年同様となった。今後も、利用者の年齢や特性を考慮し、社会参加のための外出や余暇活動に同行し、安全に活動できるよう支援していく。障害児・者の訪問入浴サービスについては、これまで問合せのみで利用につながったケースがないため、市の所管課や相談支援事業所と連携し実施につなげていきたい。
５月	５人	27回	０人	０回	
６月	４人	32回	０人	０回	
７月	５人	21回	０人	０回	
８月	４人	13回	０人	０回	
９月	４人	32回	０人	０回	
10月	４人	28回	０人	０回	
11月	４人	27回	０人	０回	
12月	５人	27回	０人	０回	
１月	４人	18回	０人	０回	
２月	４人	25回	０人	０回	
３月	４人	15回	０人	０回	
合計 （前年比）		296回 （＋30）		０回 （±０）	

［障害者相談支援事業］

障害種別	身体	知的	精神	発達障害	難病	重度心身	高次脳機能障害	その他	合計
件数／月	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数
4 月	161 件	324 件	217 件	57 件	0 件	58 件	0 件	40 件	857 件
5 月	203 件	386 件	194 件	59 件	0 件	52 件	0 件	43 件	937 件
6 月	210 件	326 件	175 件	19 件	0 件	15 件	0 件	51 件	796 件
7 月	135 件	309 件	154 件	51 件	0 件	46 件	5 件	49 件	749 件
8 月	163 件	350 件	158 件	15 件	0 件	43 件	4 件	55 件	788 件
9 月	165 件	392 件	156 件	28 件	0 件	34 件	0 件	48 件	823 件
10 月	169 件	215 件	104 件	15 件	0 件	54 件	1 件	57 件	615 件
11 月	184 件	290 件	228 件	50 件	0 件	45 件	0 件	42 件	839 件
12 月	222 件	251 件	126 件	19 件	0 件	16 件	0 件	70 件	704 件
1 月	179 件	227 件	113 件	24 件	0 件	27 件	0 件	46 件	616 件
2 月	154 件	298 件	127 件	33 件	0 件	17 件	0 件	49 件	678 件
3 月	274 件	417 件	177 件	20 件	0 件	40 件	0 件	62 件	990 件
合計 (前年比)	2,219 件 (−215)	3,785 件 (−221)	1,929 件 (−836)	390 件 (−29)	0 件 (±0)	447 件 (−163)	10 件 (−9)	612 件 (＋16)	9,392 件 (−1,457)
相談比率	23.6%	40.3%	20.5%	4.2%	0%	4.8%	0.1%	6.5%	——

【相談方法】関係機関(45%) 電話(31%) 訪問(3%) 来談(5%) 同行(1%) 電子メール(2%) その他(13%)

【支援内容】福祉サービス(61%) 障害･病気の理解(2%) 健康･医療(7%) 不安の解決(2%) 保育教育(1%) 人間関係(5%) 家計・経済(3%) 生活技術(5%) 就労(4%) 社会参加(1%) 権利擁護(1%) その他(8%)

サービス利用計画作成件数 213 件（内訳：知的 112 件、身体 45 件、精神 38 件、重度心身 13 件、発達障害 5 件）

【評価及び課題】

サービス等利用計画の為の業務が中心で、その繋がりからの一般相談が多い。柳川市障害者自立支援協議会の活動が活性化し、災害時避難所に係る問題や就労支援体制の整備、バリアフリー観光マップなどの製作に取り組み、当事者と支援者が協働で障がい児者が住みやすいまちづくりを進めている。

社協独自の事業である計画相談に係る業務の割合が多いため、委託事業の一般相談との業務の調整が課題である。

５．生活管理指導員派遣事業・エンゼルサポーター派遣事業〔市受託事業〕

月	生活管理指導員派遣		エンゼルサポーター派遣		評価及び課題
	実利用者数	派遣回数	実利用者数	派遣回数	
４月	１０ 人	３５ 回	０ 人	０ 回	生活管理指導員派遣事業については、利用者数はほぼ前年同様であった。日常生活上の支援を必要とするひとり暮らし等の方で要介護認定が非該当と判定された高齢者が自立した生活を送ることができるよう支援していく。 エンゼルサポーター派遣事業については、利用が殆どないため、市の所管課と連携し利用につなげていきたい。
５月	１０ 人	３６ 回	０ 人	０ 回	
６月	１０ 人	３９ 回	０ 人	０ 回	
７月	１０ 人	３１ 回	０ 人	０ 回	
８月	９ 人	３３ 回	０ 人	０ 回	
９月	１０ 人	３２ 回	０ 人	０ 回	
１０月	１１ 人	３１ 回	０ 人	０ 回	
１１月	１０ 人	３５ 回	０ 人	０ 回	
１２月	１０ 人	３３ 回	０ 人	０ 回	
１月	９ 人	３０ 回	０ 人	０ 回	
２月	９ 人	２９ 回	０ 人	０ 回	
３月	８ 人	２８ 回	１ 人	１ 回	
合計 （前年比）		３９２ 回 （－１０）		１ 回 （＋１）	

６．高齢者生きがい活動支援通所事業〔市受託事業〕

月	実施日数	登録者数	実利用者数	延べ利用者数	１日平均利用者数
４月	２０ 日	５５ 人	５３ 人	３０６ 人	１５.３ 人
５月	１９ 日	５６ 人	５３ 人	３１４ 人	１６.５ 人
６月	２２ 日	５７ 人	５２ 人	３１８ 人	１４.５ 人
７月	２０ 日	５７ 人	４９ 人	２８５ 人	１４.３ 人
８月	２０ 日	５７ 人	４９ 人	２７８ 人	１３.９ 人
９月	１９ 日	５８ 人	５０ 人	２６６ 人	１４.０ 人
１０月	１９ 日	５８ 人	４９ 人	２９１ 人	１５.３ 人
１１月	２０ 日	５９ 人	５０ 人	３１１ 人	１５.６ 人
１２月	１８ 日	５９ 人	４９ 人	２６４ 人	１４.７ 人
１月	１８ 日	６０ 人	４８ 人	２５０ 人	１３.９ 人
２月	２０ 日	６１ 人	４６ 人	２６８ 人	１３.４ 人
３月	２２ 日	６１ 人	４６ 人	２９５ 人	１３.４ 人
合計 （前年比）	２３７ 日 （±０）			３,４４６ 人 （－５７５）	１４.５ 人 （－２.５）

【評価及び課題】
利用者平均年齢 85 歳と高齢だが元気に利用されている。
日常動作･趣味･創作活動･レクレーション等を行うことで、身体機能の維持が図られるとともに日常生活における意欲の向上･認知症予防につながっている。
利用登録者数は減少傾向にある。大和町居住者に限定されているため、周知や広報活動に制約がある。民生委員や地域支援者を通して、新規利用者の獲得を図る。